

令和7年度特許調査実践研修 実施報告

令和8年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、令和7年度 大阪工業大学と連携して、特許調査実践研修をオンラインにて実施しました。本研修では、特許出願前から特許取得、権利活用に至るまでに必要となる効率的な特許調査の手法や特許審査基準に基づいた特許性判断について、講義だけではなく、実習、グループディスカッションを通じて学習いただきました。また、研修内容の疑問や日常業務の特許調査に関する悩みを講師に個別相談できる「お悩み相談室」を開設し、受講生に活用いただきました。

1. 研修の概要

(1)日程	9月1日～9月3日(3日間)
(2)開催方法	オンライン
(3)参加人数	27名
(4)講師	4名

2. アンケート結果 (回収率:85%)

(1)研修全体として	人数	割合
・非常に有意義であった	13名	57%
・有意義であった	10名	43%
・どちらとも言えない	0名	0%
・有意義でなかった	0名	0%
・とても有意義でなかった	0名	0%
・無回答	4名	—

(2)主な意見・要望	・検索に重要なインデックスの利用方法を実例を用いて習得できた。
	・基本的な用語体系から始まり、検索方法から企業における知財についてまで、初心者にもわかりやすく網羅的な内容であったと感じた。
	・先生に直接スムーズに聞くことができたので、特許調査演習で躓いている箇所を解消することができた。
	・特許法概念の理解、サーチ戦略の方式等我流になり、教示頂ける環境がなかったので、再学習でき、実体験からの悩みも相談でき解消できた。
	・他の参加者の調査に関する視点の違いを知ることができ、今後の調査の参考にできると感じた。
	本研修を通して多角的な視点で調査に臨むための実践スキルを学ぶことができ、普段の業務に活かすよう自身に意識づけることができた。